

経済・金融
フラッシュユーロ圏失業率(2024年2月)
—失業率は低水準で横ばい推移が継続

経済研究部 主任研究員 高山 武士

TEL:03-3512-1818 E-mail: takayama@nli-research.co.jp

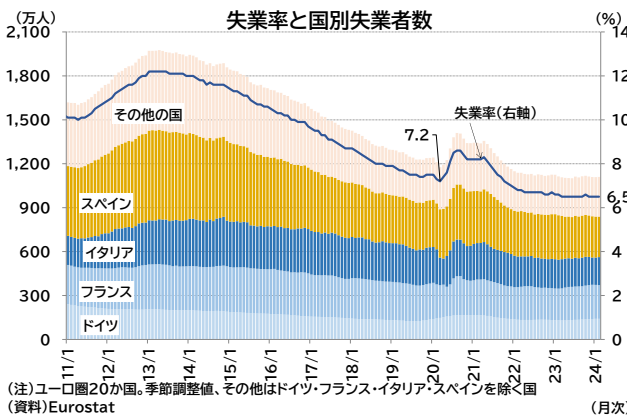
1. 結果の概要:失業率は過去最低水準で横ばい

4月3日、欧州委員会統計局（Eurostat）はユーロ圏の失業率を公表し、結果は以下の通りとなった。

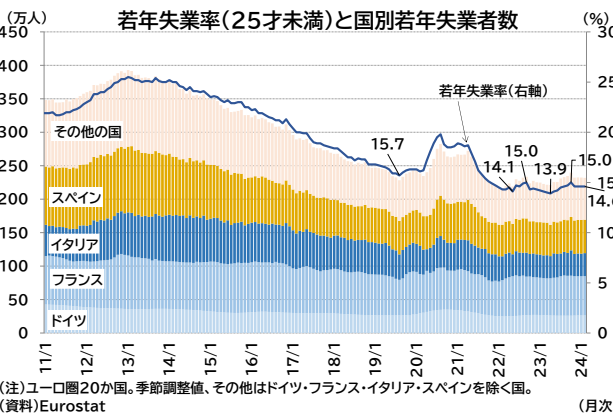
【ユーロ圏失業率（20か国、2024年2月、季節調整値）】

- ・失業率は6.5%、市場予想¹（6.4%）より上振れ、前月（6.5%）から横ばいとなった（図表1）
- ・失業者は1110.2万人となり、前月（1108.5万人）から1.7万人増加した

(図表1)



(図表2)



2. 結果の詳細:若年失業率も横ばい推移

ユーロ圏（20か国）の2月の失業率は6.5%となり、1月（6.5%）から横ばいだった。なお、1月のデータがやや悪化方向に修正された（改定前6.4%→改定後6.5%）ことを受けて、6.5%は統計データ公表以来の最低値となっている（また、それより以前のデータにはほぼ改定がなかった）。

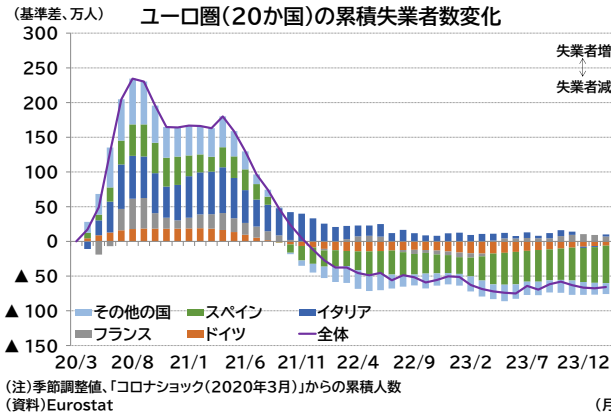
失業者数は2月の前月差で1.7万人減となり、23年10月以来となる増加だった（図表3・4）。主要4か国では、ドイツ（0.5万人）とイタリア（4.6万人）が増加、フランス（▲2.2万人）、スペイン（▲2.5万人）が減少している。

2月の若年失業率は14.6%となった。なお、若年失業率も過去データはやや悪化方向に改定された（23年12月14.5%→14.6%、24年1月14.5%→14.6%）。若年失業率は23年4月（13.9%）をボトムにやや上昇したが、10月に直近ピークとなる15.0%を記録した後は14%台半ばで4か月連

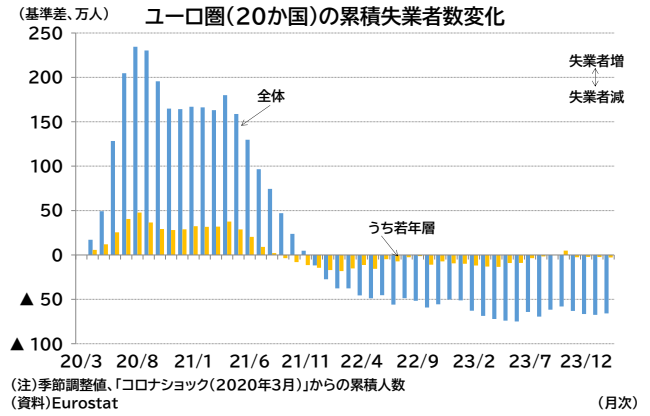
¹ bloomberg 集計の中央値。以下の予想値も同様。

続での横ばい推移となった（前掲図表 2）。若年失業者数は 2 月で 231.9 万人（前月差▲0.4 万人）となり前月比で減少した。前月比の減少は 2 か月連続となる。若年失業者数の水準はコロナショック直前（20 年 3 月の 234.6 万人）をやや下回る状態で推移している（図表 4）。

（図表 3）

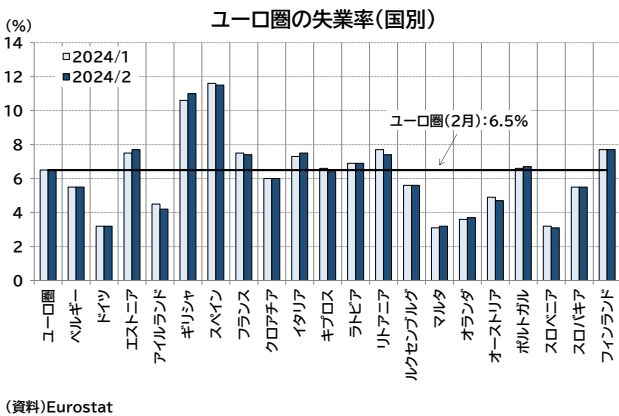


（図表 4）

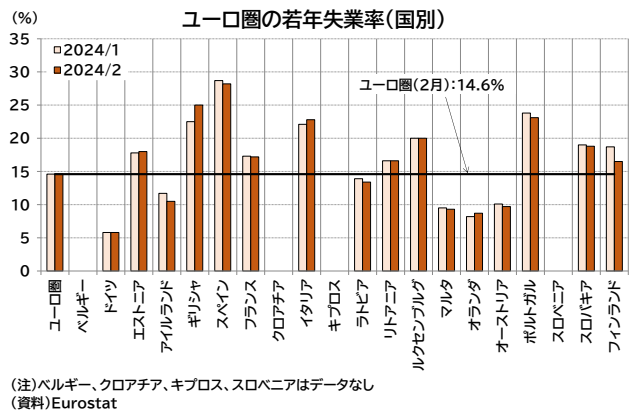


国別の 1 月のデータを見ると、失業率は 20 か国中、悪化した国が 6 か国、改善が 7 か国、横ばいが 7 か国とまちまちだが、総じて低失業率を維持している（図表 5）。若年失業率はデータが公表されている 16 か国中、悪化した国が 4 か国、改善が 9 か国、横ばいが 3 か国だった（図表 6）。

（図表 5）

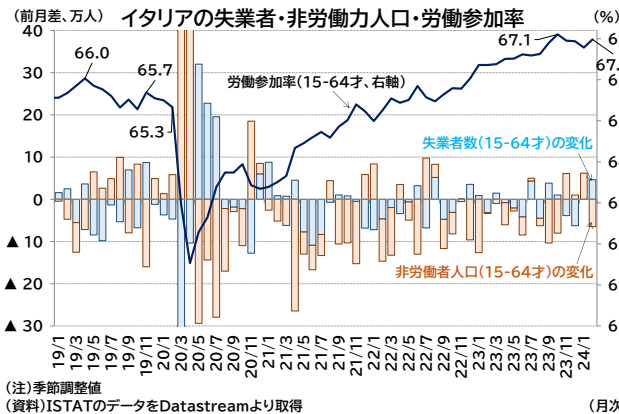


（図表 6）

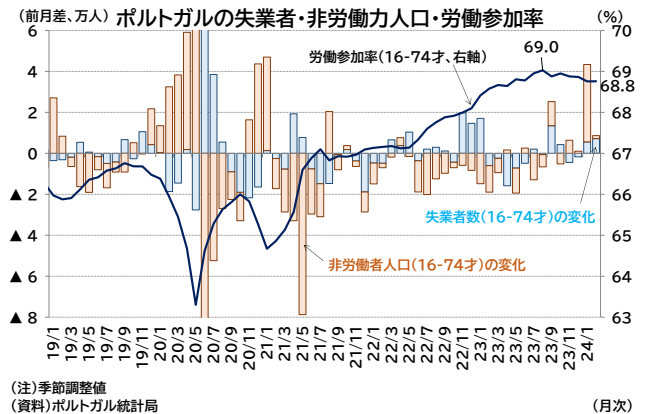


最後に詳細な月次データを公表しているイタリアとポルトガルについて確認すると、イタリアは失業者が増加したものの、就業者も増加し、非労働力人口が減少した（図表 7）。ポルトガルは失業者と非労働力人口が増加し、就業者が減少した（図表 8）。労働参加率はいずれの国もコロナ禍後のピークからはやや低い水準にあるが、過去と比較して高水準を維持している。

（図表 7）



（図表 8）



（お願い）本誌記載のデータは各種の情報源から入手・加工したものであり、その正確性と安全性を保証するものではありません。また、本誌は情報提供が目的であり、記載の意見や予測は、いかなる契約の締結や解約を勧誘するものではありません。